

教育資料 プログラム 6. 言葉でつなぐ即興スピーチ

1. 言葉でつなぐ即興スピーチとは

カードに書かれている言葉を使って、数人で話をつないで、一つのストーリーを即興で創作する。最初の人から短い語り出しの文章を読み上げ、次の人は、カードに書かれた接続詞、形容詞、名詞、動詞の言葉を使って順々にスピーチをつないでいく。各自が引いたカードの言葉によって、続きに何を語るか瞬時に考えて話を続ける。ゲーム感覚で楽しむことができる。

2. 目標

即興スピーチを考えることで、思考の瞬発力を高める。視点を変えて発想の展開力を鍛える。スピーチをつなぐために前の人の話をよく聴き、コミュニケーション力を豊かにする。

3. 構成

基本は一人が並べられているカード1枚をめくり、次の人につなげていく。参加人数によって1人が数枚のカードをめくり話をつないでもよい。どんな順序で何枚のカードの言葉を使うかで難易度が変わり、予測不能の即興ストーリーができあがる。カードに書く言葉はよく知られていて、会話や思考が多様な展開になるよう注意深く吟味した言葉とする。

4. 手順

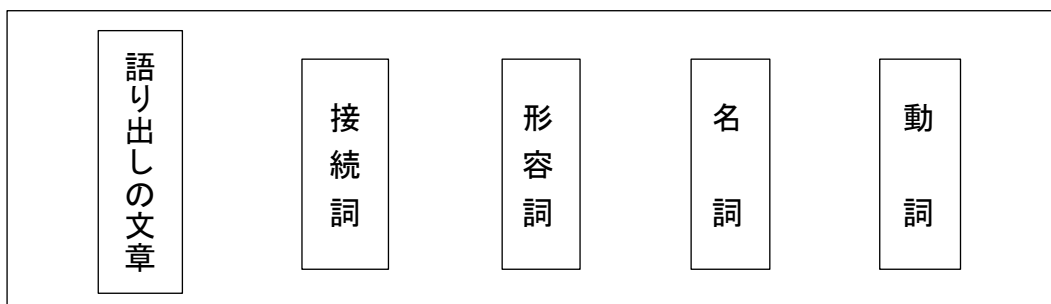
- (1) 語り出しの短い文章、接続詞、形容詞、名詞、動詞の言葉が書かれた5種類のカードを、この順番に、同じ種類ごとにまとめて伏せて並べる。
- (2) 最初の人から語り出しの短い文章が書かれているカードをめくり、書かれている文章を発表する。その文章を受けて、次の人は接続詞のカードから1枚めくり、カードに書かれた言葉を聴衆に見せる。最初の文章に続けて、その言葉をスピーチの中に使って、話をつないでいく。
- (3) 接続詞の人のスピーチを受けて、次の人は形容詞のカードから1枚めくり、書かれた言葉を聴衆に見せて、スピーチの中に使って話をつないでいく。名詞、動詞も同様に続けて、即興でオリジナルスピーチを展開していく。動詞は活用させて使ってもよい。

5. 効果

数人で一つのストーリーを創り上げることに挑戦して、チームワークと達成感が得られる。前の人の話をよく聴いて続きに何を話すかを瞬時に考えることで、発想の展開力、思考の瞬発力、コミュニケーション力が身につく。各自が話す制限時間を指定すると、制限時間内に話す訓練にもなる。

6. 準備

語り出しの文章、接続詞、形容詞、名詞、動詞の語句が書かれたカードを、同じ種類ごとにまとめてそれぞれ机の上に伏せて並べておく。テーブルが狭い時は、種類ごとに束ねて伏せて置いてもよい。



7. 文 例

<最初の短い語り出しの文章>

- (1) スポーツジムで、昔憧れていた初恋の人と再会しました。
- (2) 竜宮城の玉手箱を開けたら、老人ホームの入居者になっていました。
- (3) 目が覚めたら、夫と私が入れ替わっていました。
- (4) パーティーでフィギュアスケートの羽生結弦選手に声を掛けられました。
- (5) 目が覚めたら、ビバリーヒルズの大富豪の夫人になっていました。
- (6) 毎日大好きなケーキを食べていたら 15 キロも太ってしまいました。
- (7) ボランティア活動で、身寄りのない5歳の女の子を、我が家で預かることになりました。

<接続詞>

おまけに	けれど	しかし
実は	しかも	そのかわり
その上	それなのに	それにしても
そして	だから	ちなみに
つまり	ところが	なぜなら

<形容詞>

明るい	寂しい	忙しい
面白い	柔らかい	素晴らしい
恥ずかしい	騒がしい	大切な
綺麗な	有名な	賑やかな
不思議な	親切的な	無駄な

<名 詞>

太 陽	花	水
友だち	家 族	愛 情
自 由	旅 行	勉 強
パソコン	スマホ	メール
犬	パンダ	コーヒー

<動 詞> (動詞は活用させて使ってもよい)

走る	泳ぐ	飛ぶ
登る	歩く	動く
買う	起きる	行く
出会う	変える	働く
歌う	訪れる	考える